

部門ごと集中審査

決算審査特別委員会

9月議会では、27年度決算の審査を行いました。決算審査の方法は、議長を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（渡辺忠委員長、今野裕文副委員長）を設置、9月7日から9月14日まで審査し、その結果、いずれも原案のとおり認定しました。

総務部門

質問 NTTファシリティーズ社に貸付けた地代は適切なのか。また、事務処理に問題はなかったのか。

答弁 事業導入の経過と今後の方向性を含め、両者協議の上、決定した額であり、妥当な額と考えている。また、事務処理については適切さに欠けた場面もあったと認識している。今後においては、反省、改善を含め行政執行にあたる。

質問 政策決定のあり方、諸課題の洗い出しに問題はないのか。また、人員適正化計画の見直しはないのか。

答弁 現状において不十分な場面も

あったと認識している。政策意志決定において、より望ましい政策につなげられるよう努力する。事務事業の見直しと人員適正化計画は同時に進めるべきと考えるが、特にも事務事業の見直しは、市民理解を得られるよう進めて行く必要があると考えている。

質問 国体時に整備された施設、設備の今後の活用の考え方は。

答弁 多額の費用を投じた施設であることから、利用できる施設については、他団体と協議の上、今後においても活用する方向で検討する。

質問 前沢いきいきスポーツランド隣接の未利用地の活用は。

答弁 駐車場、および多目的広場の整

備を行ったが、活用のあり方についてはより多様な利用拡大に継げるよう検討する。未利用地活用については自然エネルギーを活かした事業を考えている。今後、十分検討し活用方向を定めてゆく。



いきいきスポーツランドに隣接する未利用地

質問 生活保護世帯からの市民税の徴収は適正妥当なのか。

答弁 世帯個々の状況を総合的に勘案しつつ判断する。徴収の方針は明確になっておらず、福祉部と連携を強化し方針および基準を定めてゆく。

教育厚生部門

質問 平成21年の胆沢第一小学校校舎大規模改修工事中に児童が健康被害を引き起こした「シックスクール対策事業経費」について、児童、生徒に対する今後の対応方針は。

答弁 発症児童生徒には通院のための運賃などを支給している。10年で打ち切っているかどうかもあり、子どもの様子を見て、卒業後も保護者とも十分に協議して、今後の方向を検討する。

質問 幼稚園・学校の修繕について、学校等の要望額、教育委員会の予算要求額、実際の予算額は。

答弁 学校の要望額は330件、約4億8千4百万円、教育委員会の予算要求額は119件、約4千3百万円で要望額の8・9%、実際の予算がついたのは要望額の7・7%。そのほか、別枠で大規模修繕2千万円である。

質問 自殺対策で心の病を見つけるため、市民のストレスチェック体制のあり方は。

答弁 自殺は50代男性が最も多いことから、50歳の男性に絞ってチェック表を送り、ストレス度などを診断してい